

事業評価報告書

1 地域課題の名称

高齢者の通いの場の効果の見える化について

2 市町村名及び評価部局課名

高岡市福祉保健部高齢介護課

3 課題の概要

本市では、高齢者の閉じこもり防止と身体機能向上のため、通いの場において、「高岡はつらつストレッチ体操」を推進している。通いの場を地域で増やしていくにあたり、これまで、個人の体力測定等は実施してきたが、通いの場の効果を根拠に基づいて説明することができず、必要性を地域住民に十分に感じていただけなかった。通いの場に参加し、運動することが、実際に医療費や介護費の抑制に効果があるかについて、評価し可視化することが課題である。

4 解決策の提言に対する評価(観点及び分析等について、具体的に記載願います。)

通いの場参加群と非参加群を KDB データから比較分析した結果、参加群の入院医療費及び外来医療費は非参加群のそれよりも少ないことが判明し、通いの場への参加が介護予防の機能を果たしていることが見える化された。

また、通いの場参加者へのアンケートやインタビュー結果から、健康づくりのみならず、友人や仲間との交流を目的に参加する方が多いことがわかり、通いの場への参加が生きがいづくりや仲間づくりに繋がっていることが示唆された。前期高齢者では社会貢献の意識が比較的多く認められ、スタッフとしての役割を果たしていることが分かったが、その割合は3割であった。

今回、通いの場の周知のためのリーフレットを2種類作成した。一つは市全域への配布のため汎用性の高い内容のもの、もう一種類はインタビューデータや各通いの場の写真に加えて、具体的な実施内容がまとまった各通いの場それぞれ特色あるものとなった。

以上を踏まえ、課題解決に向けて3つの提案をいただき、どれも有意義な提案であった。特に、リーフレットを活用した通いの場の効果の発信と周知では、実際活動している様子の写真やいきいきとした参加者の生の声を載せることで、身近な活動として感じやすく具体的な活動がイメージしやすく、これまで無関心であった層にも働きかけやすくなった点が良かった。また、例えば男性の参加が得られるようなプログラムの工夫を周知する等、プログラムが多様化することで通いの場の増加に繋がると感じた。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、現地調査できない時期があったため当初の計画より大幅にスケジュールが遅れたため深い分析ができなかったことは残念に思うが、限られた時間の中で調査分析し提言をまとめていただいたことは評価する。